

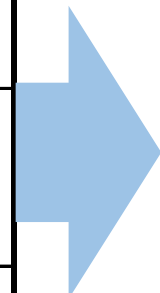
2021年 ガイドライン評価改善シート

施設名 ( スタジオアルテ就労継続支援B型 ) 作成日時 ( 2021年9月22日 )

代表	施設長	本部
印		

2021年度 改善への取り組み	工賃確保 ①ハチエイチ酒場のランチ営業 ②オールしずおか「子ども食堂へケーキを贈る」事業 ③ハチエイチとイベント参加
今年度の施設目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の特性に合わせた作業や仕事を探る。</li> <li>・メンバーが安心できる「場」を整える。</li> <li>・前年度工賃平均「8500円」を工賃評価表を作成し作業評価に基づき、平均「12,000円」を目標にする。</li> </ul>

項目	事業所内評価を踏まえた上での問題点	事業所内評価を踏まえた上での改善点
環境・体制整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人員は確保され、安定した支援の継続、職員間のコミュニケーションも円滑に行われている。</li> <li>・作業スペースは明確だが、各々の障がい特性に応じた環境設定が未完成である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・限られたスペースの中ではあるが、利用者の作業状況、心身状況に応じ、集中して作業出来る様、または休憩するなどの場面に応じての環境設定を行えるようにしていく。</li> </ul>
業務改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の仕事が増え、役割分担が出来て、スムーズに作業できるようになってきている。</li> <li>・アセスメントから利用者の強みを生かした作業、職員をも得意を生かし、適材適所の作業が進んでいる。</li> <li>・繁忙期は作業が間に合わず、職員が残業して仕上げる日も出てきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急な繁忙期に備え、日頃からの事前準備、またフローチャート等を作成し、全員が把握し、対応出来るような体制を整えていく。</li> <li>・現在の体制を維持しつつ、若干名の利用者の受け入れを行なう。</li> </ul>
適切な支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の強みを生かした作業を行ない、作業分担をして、日々の作業が円滑に進むようになってきている。</li> <li>・作業に追われ、各々の作業展開へのより深い教えに不足を感じている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活面・作業面共、より深いアセスメントを行ない、芽生えのある作業への教え、将来に向けての生活全般のスキルの向上に取り組んでいく。</li> </ul>
関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各々の相談支援事業所との連携を行ない、作業の様子等を伝えると共に生活全般についての相談も行なっている。</li> <li>・商品販売に向けて、関係機関の開拓まで追いついていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡県や三島市などの関係機関との繋がりを強め、販売ルートを増やしていきたい。</li> </ul>
本人(家族)への説明責任等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業評価表を作成し、作業の状況、評価、特別業務手当、能力給等詳細を面談にてお伝えし始めた。</li> <li>・利用者本人にも伝えているが、次のステップへの見通しが立っているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人が自分の作業評価を理解し、作業スキルや意欲向上に向けての取り組みが必要である。</li> </ul>
非常時等の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常行なっている訓練に加え、地域避難場所を使用した訓練や水難時対応訓練も行なった。</li> <li>・火を扱っていることから、地震等で火が燃え移る、ガス漏れ等への職員間の消火訓練、体制確認が不足している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンロや調理器具等から火災、ガス漏れが起きた想定訓練等、様々なパターンでの訓練を行なう。利用者だけではなく、職員間連携等の消火訓練も行なっていく。</li> </ul>



分析検討してみたの事業所の強み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人員は確保され、職員間のコミュニケーションは円滑、また職員をも強みを生かし、適材適所で仕事担当が行なわれている。</li> <li>・利用者各々の1日のスケジュールを明確にしたことにより、作業内容を把握し、それぞれのペースに合わせて作業が行なわれ、作業時間、休憩時間のメリハリもある。</li> <li>・仕事を明確化したことにより、昨年より生産量がアップし、売り上げも伸びている。</li> </ul>

分析検討してみたの事業所の改善点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売拠点が自社店舗、またはグループ施設職員や利用者の為、特に生産量も多くなく迫った納期もない。その為、現状維持で留まっている。開拓、発展に向けての作業能力の向上、目標売り上げ、工賃の設定に向けての取り組みまで進んでいない。</li> <li>・コロナ禍で事業縮小(時間短縮、イートイン停止)したが、「コロナ禍」に耐えたこと、普段の作業に追われていることから新しい生活様式に合わせた商品考案、販売ルートの開拓が進んでいない。</li> </ul>

事業所の改善への取り組み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の作業能力アップを目指し、まず職員がアセスメントや障がいについての理解、利用者各々の本来の姿の理解を深めること→月1回の支援会議。(各々の心身状況、作業能力、取り組み、意欲等の把握。支援統一)</li> <li>・作業アセスメントで今後への兆しのあった作業への1対1の教え→自立に繋げる。</li> <li>・新しい生活様式をふまえての販売形態の考案。</li> <li>・グループ施設内の売り上げに甘えることなく、外部の方に知ってもらう為の広報、開拓。</li> <li>・工賃向上会議での職員の積極的な参加。(考案、発言)</li> <li>・現在の体制、利用者の「安心できる場」を維持しつつ、若干名の新規利用者の受け入れを行なう。</li> </ul>

自己評価を行ったの事業所としての感想など
<ul style="list-style-type: none"> <li>・商品開発、利用者の作業、各々のアセスメント、作業の教えからやり直し、今では利用者が準備から完成まで1人でこなせるようになった商品も出てきた。職員間のコミュニケーションも円滑になり、職員同士が信頼感を持って仕事に取り組めるようになり、それが利用者の安心感にも繋がり、作業能力アップにも影響しているように感じる。今後も「安心できる場」を軸に、作業能力、全体売り上げ、工賃アップ等、全体の底上げを目指していきたい。</li> </ul>

来年度の施設目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>①メンバーが安心できる「場」の提供の継続。</li> <li>②個々の強みを生かした作業能力の向上→工賃評価表における能力給、特別業務手当での評価→工賃アップを目指す。</li> <li>③新しい生活様式に合わせた商品開発、販売形態の考案を行ない、全体売り上げアップを目指す。</li> </ul>
----------	--